

STEREO HEADPHONE WITH PORTABLE MASSAGE FUNCTION

Patent Number: JP2000244991
Publication date: 2000-09-08
Inventor(s): IWASAKI SUSUMU
Applicant(s): IWASAKI SUSUMU;; MORISAWA KATSUFUMI
Requested Patent: ☐ JP2000244991
Application Number: JP19990082166 19990218
Priority Number(s):
IPC Classification: H04R1/00; A61H39/04; H04R1/10; H04R25/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a stereo headphone with portable massage function by which acupuncture points of the head of a user can be massaged while listening to music.
SOLUTION: A container 4 of a couple of electric vibrators 2 is mounted to an inner side of a head band 1 of the stereo headphone and several vibration delivery sections 3 are projected from head press contact side of the container 4. The vibrator 2 is connected to a controller 6 incorporating a battery by a lead wire 5. The controller 6 controls the action of the vibrators 2. The lead wire 7 is connected to a portable cassette player or a CD player or the like via a connection plug 8. Then the action of the vibrators 2 is controlled by detecting a strength of a music signal or a frequency within a prescribed range supplied therefrom.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(11)特許出願公開番号
特開2000-244991
(P2000-244991A)

(43)公開日 平成12年9月8日(2000.9.8)

(51)IntCl'	識別記号	F I	テマコード(参考)
H 0 4 R 1/00	3 1 0	H 0 4 R 1/00	3 1 0 G 4 C 1 0 1
A 6 1 H 39/04		A 6 1 H 39/04	M 5 D 0 0 5
H 0 4 R 1/10	1 0 1	H 0 4 R 1/10	1 0 1 Z 5 D 0 1 7
25/00		25/00	Q

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 4 頁)

(21)出願番号	特願平11-82166	(71)出願人	599039740 岩崎 進 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台6丁目2番地の62
(22)出願日	平成11年2月18日(1999.2.18)	(71)出願人	599039751 森澤 克文 宮城県黒川郡宮谷町東向陽台1丁目13番29号
		(72)発明者	岩崎 進 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台6丁目2番地の62

最終頁に続く

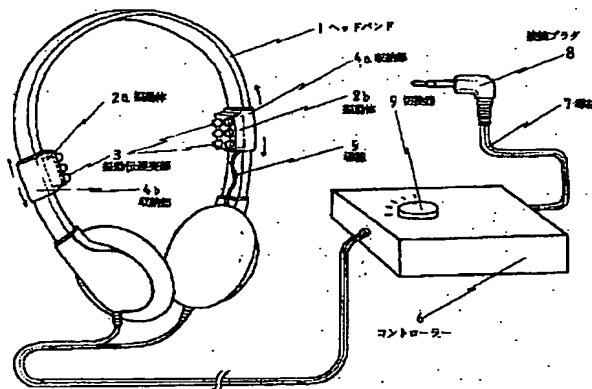
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホン

(57) 【要約】

【課題】 音楽を聴きながら、頭部の経穴をマッサージ治療できる携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホンを提供する。

【解決手段】ステレオヘッドホンのヘッドバンド１の内側に、一対の電気振動体２の収納部４を装着させ、その収納部４の頭部当接側に数個の振動伝達部３を突設する。振動体２は導線５によって電池を内蔵したコントローラー６と接続されており、このコントローラー６によって振動体２の作用を制御する。導線７は接続プラグ８を介して携帯型カセットプレーヤーやＣＤプレーヤー等に接続され、それから供給される音楽信号の強さ、或いは一定範囲の周波数を検知して振動体２の作用を制御する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ステレオヘッドホンのヘッドバンド

(1)の内側に、電池によって振動する一対の振動体(2)の収納部(4)をヘッドバンド(1)に沿って摺動自在に装着させ、なおかつ所望位置に定着できるようにする。その収納部(4)の頭部当接側に数個の振動伝達部(3)を突設させ、その振動作用を振動体(2)と導線(5)により接続される電池を内蔵したコントローラー(6)で、ヘッドホンで聴いている音楽信号の一部を検知して制御することを特徴とする携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホン。

【請求項2】 振動伝達突部(3)よりパルスによる電氣的刺激を発することを特徴とする「請求項1」記載の携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホン。

【請求項3】 振動体(2)の収納部(4)をヘッドバンド(1)より脱着自在にした「請求項1」及び「請求項2」記載の携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホン。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、頭部をマッサージする機能を有するステレオヘッドホンに関する。

【0002】

【従来の技術】従来より、頭部の経穴に振動及び電氣的刺激を付与して、病氣や症状を軽減するマッサージ器は広く公知である。然し乍ら、振動型及び電氣的刺激型いずれも速度・強弱・一定モードの切替えはできてもその作用は単調である。故に従来のものでその使用を持続し、又継続することは倦怠感を伴う。

【0003】さらに、それら従来のものを使用する際は、手持ち型・ヘッドホン型・据置型等殆どが機器の形状や使用態様等の理由で、他人前で使用するには抵抗を感じるために、使用する時間及び場所の制約を受けているのが実情である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】マッサージによる施療は継続的に行う必要がある。しかしながら、従来のものの継続的施療は前述した理由により成し難く、又、時間と場所の制約を受けざるを得ない。よって、本発明は手軽に、何時でも、何処でも、飽きずに施療できることを目的になされたものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、ステレオヘッドホンのヘッドバンド1の内側に、電池によって振動する一対の振動体2の収納部4をヘッドバンド1に沿って摺動自在に装着させ、なおかつ所望位置に定着できるようにする。その収納部4の頭部当接側に数個の振動伝達突部3を有し、その振動作用を振動体2と導線5により接続されるコントローラー6で制御する。コントローラー6は、ヘッドホンで聴いている音楽の音の強

さ、或いは一定の周波数を検知して振動体2を制御する。本発明は、以上のような構造で音楽を楽しみながらマッサージ効果を得られることを特徴とした携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホンである。

【0006】請求項2の発明は、コントローラー6に電気パルス発生機能を内蔵させ、振動伝達突部3より電氣的刺激を発することを特徴とした請求項1記載の携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホンである。

【0007】請求項3の発明は、振動体2の収納部4を脱着自在にした、請求項1及び請求項2記載の携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホンである。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明の実施例を図面に基づいて詳述すれば、図1は本発明の携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホンの全体斜視図であり、図2は本発明の振動体装着部の断面図である。

【0009】

【実施例1】ステレオヘッドホンのヘッドバンド1の内側に、一対の電気振動体2の収納部4をヘッドバンド1に沿って摺動自在に装着させ、なおかつ所望位置に定着できるようにし、その収納部4の頭部当接側に数個の振動伝達部3を突設する、振動体2は導線4によって電池を内蔵したコントローラー6と接続されており、このコントローラー6によって振動体2の作用を制御する。導線7は接続プラグ8を介して携帯型カセットプレーヤーやCDプレーヤー等に接続され、それから供給される音楽信号のうち、予め設定された音の強さ、あるいは一定範囲の周波数を検知して振動体2の作用を制御する。コントローラー6に付設された切換器9によって、振動作用の強弱の調整並びに停止の操作が行えて音楽だけを聴くこともできる。

【0010】

【実施例2】コントローラー6に内蔵されたパルス発生装置(図示しない)から導線5を介して、振動伝達部3より電氣的刺激を発して、頭部の所望箇所に振動と電氣的刺激を付与する携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホンである。

【0012】

【実施例3】振動体2の収納部4をヘッドバンド1に脱着自在とした実施例1又は実施例2記載の携帯式マッサージ機能付ステレオヘッドホンである。

【0013】

【発明の効果】本発明は、前述のようにステレオヘッドホンにマッサージ機能を付与したことにより、歩行中・乗車中など場所と時間にとらわれずに施療できる。又、振動作用を音楽信号によって制御するためにその作用が単調にならず、さらに音楽を聴きながら使用できるので継続施療が容易となり、なおかつ、音楽に同調して作用するので音楽の臨場感を増す効果もある。分けても、側頭部、頭頂部、前頭部、後頭部に点在する経穴(角孫・

曲鬢・百会・承靈・前頂・後頂・通天・曲差など)の所望位置に振動体を移動できるので、病氣・症状に応じて各経穴へのマッサージが可能となる。その上、音楽を聴きながらの、頭部の経穴へのマッサージは脳内ホルモンの分泌を相乗的に増す効果を与える。

【0012】

【図面の簡単な説明】

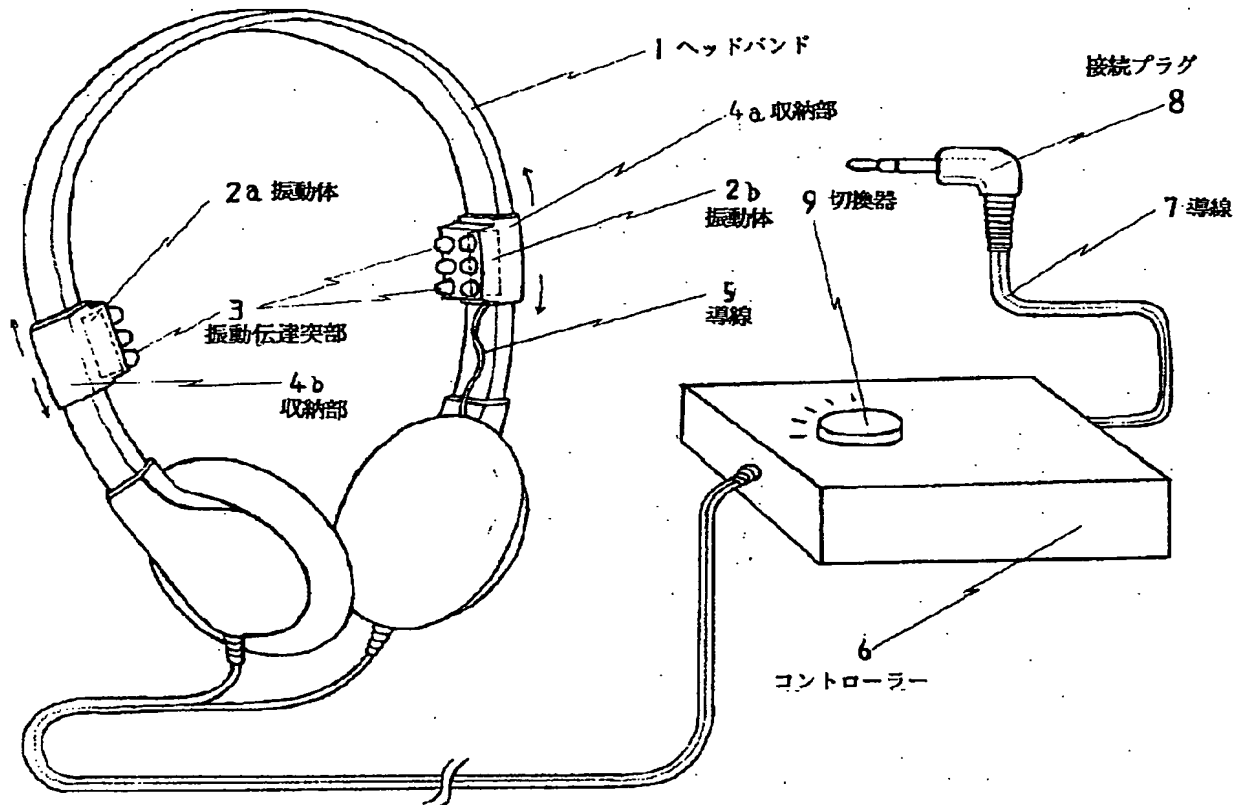
【図1】本発明の全体の斜視図である。

【図2】振動体装着部の部分断面図である。

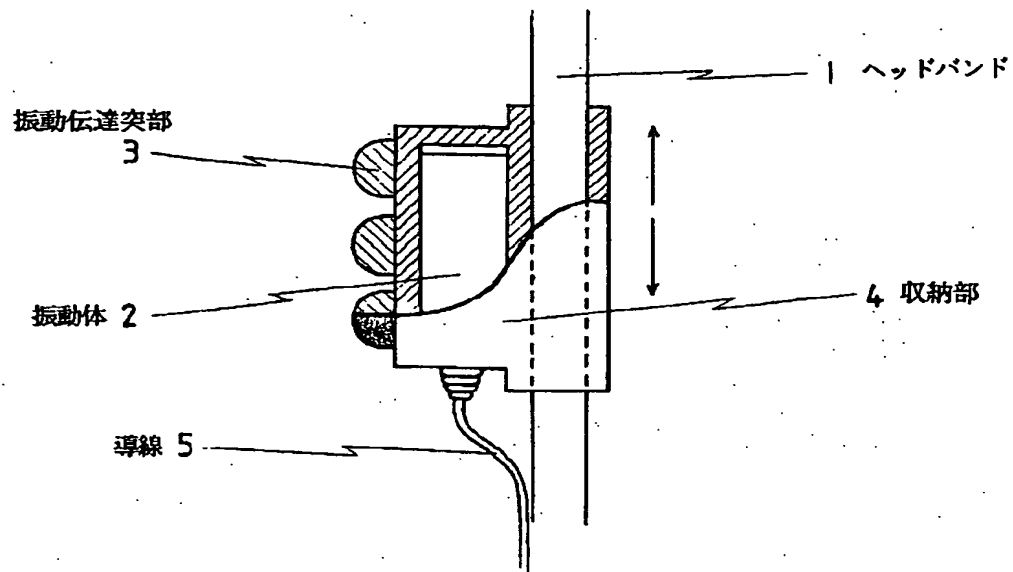
【符号の説明】

- 1 ヘッドバンド
- 2 振動体
- 3 振動伝達突部
- 4 振動体収納部
- 5 導線
- 6 コントローラー

【図1】



【図2】



フロントページの続き

Fターム(参考) 4C101 BA01 BB11 BC01 BC30 BD17
BE04
5D005 BA11
5D017 AA11